

葛飾区
協働事例集
2017年版

葛

が宝だ!

協
働
の
ま
ち

飾



葛飾区協働事例集

発行日：平成29年3月
発行：葛飾区
〒124-8555 東京都葛飾区立石 5-13-1
電話 03-3695-1111 (代表)
<http://www.city.katsushika.lg.jp>

編集：葛飾区政策経営部政策企画課
電話 03-5654-8177 (直通)

取材・編集・デザイン：株式会社Jリポート

葛飾区協働事例集の発行にあたって



葛飾区は、人情にあふれ、地域内での人と人のきずなが強い土地柄です。そのため、かねてより様々な人や団体、工業、商業、農業をはじめとする区内産業に携わる方々などにより、地域を良くしようとする活動が連携して行われてまいりました。

このきずなによる活動は、現在に至っても脈々と受け継がれています。この特色を大切にするとともに、さらに大きく発展させて、本区と関わりのある方々や団体、事業者の皆様がそれぞれの特色を生かして協働することにより、地域を良くしようという活動はより一層の効果をあげることができます。

そして、この協働の取り組みが広がり、積み重ねられていくことにより、「夢と誇りあるふるさと葛飾」を築くことができると考えています。

現在も様々な形で協働による素晴らしい活動や事業が活発に行われています。そのごく一部ではありますが、皆様にご紹介したいと考え、新たな事例をご覧ください。

今回で3冊目の発行となりますが、ご紹介した方々をはじめ、各方面の皆様からの反響も大きく、喜んでいただいております。今年も、この事例集により、本区で行われている協働の取り組みやそれに携わる方々の熱い思いなどを皆様にお伝えし、一人でも多くの方に地域を良くする活動に関心を持っていただき、また、参加していただけるようになればと考えております。

最後になりますが、本事例集の作成にあたって取材にご協力いただいた皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。

平成29年(2017年)3月

葛飾区長 青木 克徳

高齢者の孤立化を防ぐ みんなが心待ち“ふれあいの集い” グレースかつしか	32
“わかりやすく伝える”技術で 聴覚障害者に寄り添う手話通訳者 葛飾区登録手話通訳者協会	34
高次脳機能障害者とその家族を 地域ぐるみで支える 高次脳機能障害者 家族会かつしか 高次しょうぶミニデイサービス	36
大規模災害から 体の不自由なお年寄りを守れ! 葛飾区介護サービス事業者協議会	38
花いっぱいのおまちをレポート ホームページでPR! 活動・花の写真 花いっぱいレポーター	40
不法投棄・ポイ捨てされない環境づくり 地域のできるきれいなまちに! 東金町中央自治会	42
必撮! ごみの不法投棄 監視カメラの画像で警告! 立石宮元町会	44
地元でこそ誇りたい! 美術界を担う、葛飾ゆかりの美術家たち 葛飾区美術会	46
文化芸術のおまち葛飾! アートな写真が公共施設を彩る 写団「耀(かがやき)」	48
寅さんが歩いたまちと 人情のおまち柴又をつなぎ、地域活性 寅さんサミット実行委員会	50
できた♥ フルーツロールケーキ 食育推進子ども向けケーキづくり教室 葛飾区洋菓子組合	52
盛況です! 秋を彩るおまちの文化祭 多彩なイベントは参加・体験・出会いの場 新小岩文化祭実行委員会	54

人材育成課からのお知らせ	● 採用2年目職員の「協働研修」をご紹介します …… 56
協働推進担当からのお知らせ	● 職員出前講座 …… 58
	● 葛飾区公式協働ホームページ 「葛飾みんなの協働サイト」 …… 60

区長あいさつ	1
次世代に誇れるまちづくりを、自分たちの手で! 地域の活性化に“まち懇”5部会が活躍 堀切まちづくり懇談会	4
浸水都市から親水都市へ 海拔ゼロメートル地帯のまちづくり 葛飾区新小岩北地区ゼロメートル市街地協議会	6
子どもに響け! 愛のメッセージ 非行防止は毎日のアイサツから 亀有警察署母の会	8
きらきら笛で子どもを守れ! “防犯の輪”を広げる母の会 葛飾警察署母の会	10
まちを守れ! みんなで高める防災意識 「地域の防火防災功労賞」を受賞 小菅西自治会	12
地域で楽しむ秋のこどもまつり 趣向を凝らした人気イベントがいっぱい しらとりこどもまつり実行委員会	14
妊娠・出産・育児をサポート 「産婆のいる家」=「さんばはうす葛飾」 NPO法人 さんばはうす葛飾	16
元気です! 地域のお子ども会 ジュニアリーダーが教える“遊び学” 葛飾区子ども会育成会連合会	18
遊びの基地にいじゅくプレイパーク 子どもたちが自分の責任で自由に遊ぶ にいじゅくプレイパークの会	20
未来につながる! かつしか進路フェア 中学生の進路選択をサポート かつしか進路フェア実行委員会	22
行列ができる家庭の不要品販売 出品者を“リサイクルの知識”でサポート 葛飾区消費者団体連合会	24
盛況! おもちゃ病院 トイドクターが伝えるモノの大切さ かつしかおもちゃの会	26
ユニーク! 図書館でビジネス相談会 相談者の多くが起業! 一般社団法人 東京都中小企業診断士協会	28
“区民総スポーツ”のまちに! 活動歴68年! 老若男女が健康増進 一般社団法人 葛飾区体育協会	30



花いっぱい運動・環境美化部会



救護訓練・地域防災部会



堀切地場産業展・地域振興部会



堀切地区センターまつり
地区センター部会



堀切かつしか菖蒲まつり
地域振興部会

堀切かつしか菖蒲まつりは
遠方から観光バスで来てくれる人も!



広報紙「ふれあいの
まち堀切」・広報部会

次世代に誇れる

まちづくりを、自分たちの手で!
地域の活性化に“まち懇”5部会が活躍

堀切まちづくり懇談会

- Point ① 菖蒲まつりに約9万人の人出
- Point ② 住民自身が考え・行動し・創りあげるまちづくり
- Point ③ 5つの部会で地域を活性化



上段：地域振興部会 内田 徳治さん(左) / 環境美化部会 細野 泰一さん(中央) / 地域防災部会 鈴木 俊明さん(右)
下段：広報部会 一杉 昌宏さん(左) / 地区センター部会 久保田 一郎さん(中央) / 会長 岡田 明夫さん(右)

「住んで良かった」と実感できる
まちづくりがしたいんです

「住んで良かった」と実感できるまちづくりがしたいんです(岡田さん)
「菖蒲まつりには、遠方から観光バスで来てくれて、大変ありがたいです(内田さん)」
「スポーツや音楽などで活躍する地元の子どもたち、明日のスターを発掘し、紙面で紹介できるのが楽しみです(一杉さん)」
「センターまつり、カラオケまつり、下町ライブなどで、皆さん大いに楽しんでます(久保田さん)」
「花いっぱいのはまちですから、夏の散水は大変。でも、もっと花いっぱいにしたいですから、みんなで頑張っています(細野さん)」
「高齢化が進んでいる自治町会もある中、8つの自治町会の連携強化をテーマに、合同訓練や研修会などに取り組んでいます(鈴木さん)」

協働の
仕組み

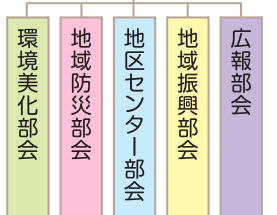
区

- 地域振興課(堀切地区センター)
 - ・ 堀切まちづくり懇談会の事務局
- 公園課・防災課・環境課
 - ・ 事業の連携や助言

団体

- 堀切まちづくり懇談会
 - ・ 堀切地区センターの自主運営
 - ・ 広報紙「ふれあいのまち堀切」の発行
 - ・ 防災訓練の実施
 - ・ 花の移植(年2回)
 - ・ 堀切かつしか菖蒲まつり、地区センターまつり、地場産業展等イベントの実施

堀切まちづくり懇談会



問い合わせ <堀切地区センター> 電話：03-3693-5637
<地域振興課> 直通電話：03-5654-8219

INTERVIEW



親水都市へのまちづくりのアイデアを出し合う輪中会議



出前授業で、水害の危険と対応策を学ぶ



ヨーロッパの都市を思わせる新小岩北地区



ボート訓練は川やまちに親しめると大好評



加藤准教授の研究室が開発したアプリ「天サイ!まなぶくん」

浸水都市から親水都市へ 海拔ゼロメートル地帯のまちづくり

葛飾区新小岩北地区ゼロメートル市街地協議会

- Point 1 「第18回防災まちづくり大賞」で総務大臣賞
- Point 2 みんなで対等にアイデアを出す輪中会議
- Point 3 出前授業やアプリで楽しく防災学習

大規模水害に備え、浸水都市から親水都市へのユニークなまちづくりを進める「葛飾区新小岩北地区ゼロメートル市街地協議会」。構成メンバーは、自治町会やNPO、大学、行政などです。

自治町会などが中心で行う川でのボート訓練は、新しいまちの発見にもつながり、防災こそワクワクするまちづくりを象徴する活動です。

メンバーたちの楽しみは「輪中会議」。輪中とは、水害から守るため、集落や耕地の周囲を堤防で囲んだ場所のことです。この会議では、さまざまな分野の人たちが対等な立場で参加し、防災活動のアイデアを出し合います。

また、小中学校への出前授業も行い、地域に広く防災意識が根付いています。東京大学の加藤孝明准教授の研究室では、(株)キヤドセンターの技術協力を受け、防災学習アプリ「天サイ!まなぶくん」を開発。水害時の状況を可視化するもので、楽しんで防災が学べるという好評です。こうした活動が評価され、平成26年度には「第18回防災まちづくり大賞」で総務大臣賞を受賞しました。

(写真下から) 特定非営利活動法人 ア!安全・快適街づくり 理事長 成戸 寿彦さん / 理事 渡邊 喜代美さん / 東京大学 生産技術研究所 都市基盤安全工学国際研究センター 准教授 博士 加藤 孝明さん / 東新小岩七丁目町会 会長 中川 榮久さん

防災って、リスクを感じてばかりだと疲れちゃうから、親しみながら川とつき合っています

「水害から地域を守るために活動を始めました。浸水の目安になるポールを立てたら、地価が下がると怒られたこともありましたが、今では理解が進んで、多くの電柱に洪水標識版が掲示されるようになりました」(成戸さん)

「災害が起きれば人々の防災意識は高まりますが、そのときだけではダメで、継続性がなければ：川の恵みと自然の脅威の両方を考えながら、親水のまちづくりをしています」(加藤さん)

「活動の輪がすくく広がりました。隣の町会も今度ボートを購入します。将来的には、たくさん自治町会でボートの操船大会をしたいなあ」(中川さん)

「防災ってリスクを感じてばかりだと疲れちゃうから、川に親しみ、興味を持って川とつき合えるようにしますよ」(渡邊さん)

協働の仕組み

団体

- NPO法人 ア!安全・快適街づくり
- 統括 ● 事務局 ● 基金

区民(コミュニティ)

- 新小岩北地区連合町会
- 社会福祉法人 ● 民生・児童委員
- 消防団 ● 市民消防隊 ● 企業

地域の学校関係者等

- 小・中学校
- PTA
- 小・中・高校生
- 保育園

輪中会議

街を、暮らしを、みんなで創る仕組みの構築に向けて

大学・専門家

- 東京大学
- 芝浦工業大学
- 日本都市計画家協会

行政

- 消防署
- 国土交通省

区

- 防災課・調整課



「クリスマスの少年の環境浄化活動キャンペーン」
12月の寒さの中たくさんのメンバーが集まりました



ゲームセンターをパトロール

児童館慰問



母の会へ考えたメッセージを書いた手紙とティッシュを配って非行防止を訴える



子どもたちの毎日の安全！
活動の尽力する皆さん

子どもに響け！愛のメッセージ 非行防止は毎日のアイサツから

亀有警察署母の会

- Point ① 非行防止のメッセージ配布
- Point ② 母の会補導員による補導活動
- Point ③ 非行のない明るいまちづくり

講演会で配る
手づくりの
巾着袋を
持って



会長 木村 澄江さん

青少年の健全な育成だけでなく
お母さんたちの教育への関心を
高めていきたいですね。

亀有警察署母の会は、警察で剣道を習っていた子どものお母さんたち6人で、昭和31年に発足しました。今では、165人にまで増えて、一緒に活動しているみなさんに支えられています。

私たちは「青少年の健全な育成」を活動目的にしています。子どもの心を育てるには、挨拶がとても大事です。そして、子どもの目をきちんと見て話すことも大切です。子どもは物事の善悪が判別できないこともあり、時に悪いことをしてしまいます。そのときは、まずは大人たちが静かに諭すことがとても大切なんです。

この活動を通して、青少年の健全な育成だけでなく、お母さんたちの教育への関心を高めていきたいですね。

INTERVIEW

15年ほど前から取り組んでいる
七夕飾りは亀有駅南口の風物詩



団体

- 亀有警察署母の会
 - ・街頭補導の実施
 - ・青少年の社会参加活動の促進
 - ・少年柔剣道錬成への協力
 - ・非行のない明るいまちづくり

区

- 防災課
 - ・補助金の支出

協働の 仕組み



小学校の新春親子大会で「きらきら笛」が配られた



自分で飾りを入れてオリジナルの「きらきら笛」が完成!



パレードで防犯を訴える！
母の会のメンバーたち

きらきら笛で子どもを守れ! “防犯の輪”を広げる母の会

葛飾警察署母の会

- POINT ① 防犯グッズ「きらきら笛」の配布
- POINT ② 母の会補導員による補導活動
- POINT ③ 非行のない明るいまちづくり



会長 大澤 桂子さん

防犯グッズの「きらきら笛」はこの笛を使わないで欲しいという声はあちやんと配っています

子どもたちと接したときに、防犯グッズの「きらきら笛」を配るんですね。本当は、一度でもこの笛を使わないで欲しい、という親心というか、ばあちゃん心というか(笑)そういう気持ちで配っています。

イベントに来た方に、「知り合いが振り込み詐欺で危なかったのよ」などという話を聞かれます。防犯って大事だし、やはり関心を高めて欲しいですね。そして防犯についてみんなの輪がもっと広がればいいな、と思います。

自治町会とか子ども会とか、他の団体ともつながりは深いんです。この活動をずっと継続していく上でも、若い方に私たちの活動に関心を持っていただいで、参加して欲しいと思います。

葛飾警察署母の会は、昭和54年(国際児童年)に、当時の本田警察署内で指導している少年剣道の会員の母親が中心となって結成されました。

葛飾警察署と協力して、青少年の健全な育成を図り、非行のない明るいまちづくりを目指して活動しています。母の会の補導員たちは、普段は、例えば新小岩駅周辺のゲームセンターやカラオケボックスなどが集まる繁華街で、また夏休みや卒業式シーズンには、街頭での補導活動に特に力を入れています。

母の会では、子どもたちが危険な目に遭いそうになったら、笛を吹いて周囲に知らせる防犯グッズ「きらきら笛」を制作するなど、防犯活動も活発に行っています。「きらきら笛」は、かつしかスポーツ大会やわんぱく相撲などのイベントで配布、子どもたちの人気を集めています。また、防犯を呼びかけるチラシも配布しています。

区内のイベントや、講演会に積極的に参加するなど、青少年の社会参加活動の促進につなげています。



「きらきら笛」は、首からぶら下げて常に身に着けられると評判

協働の仕組み

区
● 防災課
・ 補助金の支出

団体
● 葛飾警察署母の会
・ 街頭補導の実施
・ 青少年の社会参加活動の促進
・ 少年柔剣道錬成への協力
・ 非行のない明るいまちづくり





西小菅小学校での消火訓練

放水訓練



トリアージの体験

逼真的演技の救護訓練！
みんな真剣に取り組んでいます



第12回地域の防火防災功労表彰式

地域の防火防災功労表彰式



いざ、に備えて…
訓練にも
力がこもります

まちを
守れ！

みんなで高める防災意識 「地域の防火防災功労賞」を受賞

小菅西自治会

- Point ① 毎年、小菅1丁目総合防災訓練を実施
- Point ② 傷病者の搬送・医療救護訓練に積極的に取り組む
- Point ③ 防災資機材等を参集住民で搬送



会長 高橋 徳光さん(左) / 防火防災部長 嶋村 透さん(右)

顔見知りになることが防災の
第一歩ですよ、だから訓練は
みんなで取り組んでいます

「この地区は、大震災が起こったら、陸の孤島になってしまつ。悪い意味ではなくなつてね、警察も消防も当てにできない状況になるんです。だから、自分たちで守れる環境を作らないといけない。」
この地区には医者がいないからね、いかに迅速に医療機関に搬送できるか、住民と一緒に検証しながら考えています(嶋村さん)
「区が防災計画を示して、町会や自治会が実行していく。そして、住んでいる人たちの気持ちを、どう育てていくかが、私たちの使命ですね。」
顔見知りになることが防災の第一歩ですよ。だからね、訓練のときは楽しくやりますよ(高橋さん)

小菅西自治会は、周囲を河川や中央環状線の高架に囲まれた環境にあり、大地震発生時には、周辺町会から孤立すると予測されるため、自助・共助の体制を強化し、災害に負けない強いまちづくりを推進しています。
毎年10月には、「小菅1丁目総合防災訓練」を実施し、災害医療の講演会、傷病者の搬送訓練などに取り組み、災害時における初期対応などを学んでいます。
また、葛飾区健康部等と協働し、住民にもできるトリアージ(傷病の緊急度や重症度に応じて、治療の優先度を決定すること)の体験など、救護訓練を実施。さらに、一時避難場所等を記載した防災マップ・河川ハザードマップの作成や配布、地区全域をカバーする無線機を活用した情報収集や避難経路の確保などに努めています。
「自分たちの街は自分たちで守る」「災害時の行動を区とともに考えよう」という住民の積極的な取り組みが評価され、平成28年に東京消防庁が主催する「地域の防火防災功労賞」を受賞しました。



協働の
仕組み

区

- 地域保健課
 - ・小菅1丁目総合防災訓練の実施支援
 - ① 救護トリアージ訓練への支援
 - ② 傷病者の搬送訓練への支援

団体

- 小菅西自治会
 - ・小菅1丁目総合防災訓練の実施
 - ① 学校避難所開設訓練
 - ② 救護トリアージ訓練
 - ③ 傷病者の搬送訓練など

INTERVIEW



白鳥小学校ブラスバンド

わたあめには長蛇の列が！

自治町会や子ども会の有志による出店に、子どもたちは大喜び



甘い甘い
あつあつも満喫！

地域で楽しむ 秋のこどもまつり

趣向を凝らした人気イベントがいっぱい

しらとりこどもまつり実行委員会

- Point ① しらとりこどもまつりの企画・準備・開催
- Point ② 「子どもたちの健全育成は地域から」という理念で活動
- Point ③ 地域の自治町会・子ども会など団体の代表者で構成



会長 秋本 勝利さん

地元の子どもたちに
大いに楽しんでもらいたい
と思っています

もともとは、お世話になっていた白鳥児童館のために、子どもたちのおまつりをやること、と始まったのですが、今は、地域の行事になりました。地元の子どもたちに、大いに楽しんでもらいたい、と思っています。

人気のわたあめコーナーや、ゲーム、ヨーヨーなど、全部無料です。皆さんとても喜んでくれていきますよ。

自治町会や子ども会の皆さんが、地域を盛り上げようという気持ちで、準備からまつりの当りまで、積極的にかかわってくれます。まつりのテントを張るのも手がけるのですが、強制的になると続きませんから、会としては、なるべく無理のないようにお願いしています。

しらとりこどもまつり実行委員会は、年1回、子どもたちのためにお祭りをしよう、「しらとりこどもまつり」を企画しており、メンバーは、地域の自治町会や子ども会などのさまざまな団体の代表者で構成されています。

まつりは、平成5年から毎年10月に行われ、実行委員会が開催の約4か月前から、白鳥児童館で、準備をしています。白鳥児童館の隣にある白鳥北公園（雨天の場合・白鳥児童館）が会場で、開催当日は、白鳥小学校ブラスバンドの演奏や白鳥児童館を利用している子どもたちによるけん玉ダンスが行われます。

自治町会や子ども会などが趣向を凝らしたコーナーでは、わたあめ、輪投げ、紙芝居など人気の出しものが楽しめます。わたあめには毎回長蛇の列ができ、来場者は1000人〜2000人。公園は、子どもたちの歓声に包まれます。

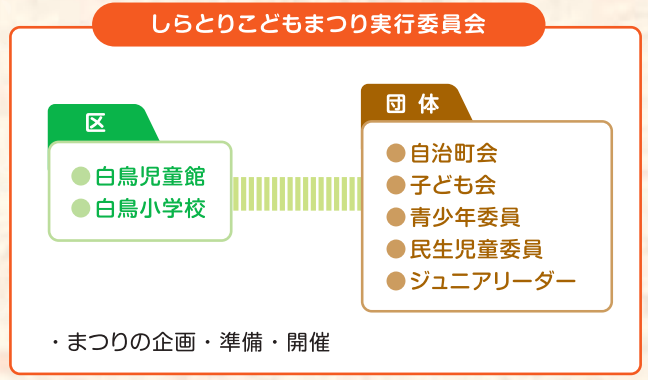
実行委員会では、地域全体で子どもたちの健全育成を目指し、子どもからお年寄りまで安心して住めるまちづくりを進めています。



紙芝居

輪投げ

協働の仕組み





パパも積極的に参加

実習では赤ちゃんの人形を使っておむつ替えやお風呂の入れ方を学びます



さんばはうす葛飾の皆さん



パパママ学級の講義風景

妊娠・出産・育児をサポート 「産婆のいる家」＝「さんばはうす葛飾」

NPO法人 さんばはうす葛飾

- Point 1 メンバー全員が専門職で、妊婦が“あんしん相談”
- Point 2 便利！土日も開催「パパママ学級」
- Point 3 地域の助産師・栄養士・看護師と行政が連携し“顔の見える支援”を！



副理事 江原 美恵子さん(左) / 理事長 井出 陽子さん(右)

メンバー全員が助産師や栄養士なので、相談する方が安心するようですよ

「地域で子育て経験のある専門職による、妊娠から育児までの切れ目ない顔の見える支援を」という区の方針に共感したので、この活動を開始しました。「ここに行けば、悩みや心配が軽くなる。一人じゃないと思える」といった声がいちばん嬉しいですね。メンバー全員が助産師や栄養士などの専門職なので、相談する方が安心するようですよ(井出さん)

「最近、パパの参加率がぐっと増えていますね。赤ちゃんをお風呂に入れるのは僕の仕事！という方もいて、すごく協力的です。参加者の方たち同士が交流したり、先輩ママさんの経験談を聞くことができ、「より出産のイメージがわき、参考になった」という意見をいただいています(江原さん)

さんばはうす葛飾は、葛飾区内で活動する助産師によって結成されたNPO法人です。妊婦さんやその家族に対して、助産師、栄養士、社会福祉士等の専門職が妊娠・出産・育児を学べる機会をつくっています。

活動は、区内の保健センター・地区センターで行われ、「ハローベビー教室」では、助産師による妊娠中の過ごし方や、赤ちゃんと一緒にの生活への心構えなどの講義を行っています。

「パパママ学級」では講義の他、赤ちゃんの抱き方や、お風呂の入れ方などの実習を取り入れています。また、パパには、妊婦の生活や行動を体験する「妊婦体験ジャケット実習」もあります。「休日パパママ学級」は人気で、以前は予約を取るのが大変でしたが、さんばはうす葛飾に委託してから土日の開催回数を増やすことができました。

さんばはうす葛飾のメンバーは、こんにちは赤ちゃん訪問や乳幼児健診といった区の事業に関わっているのので、顔の見える円滑なコミュニケーションを実現しています。



妊婦体験ジャケットでパパも“妊婦”を体験！ママってたいへんだなあ

協働の仕組み

- 区
- 子ども家庭支援課・保健センター
 - ・ NPO法人設立支援
 - ・ 事業委託
 - ・ ハローベビー教室・パパママ学級実施後のカンファレンス実施

- 団体
- NPO法人 さんばはうす葛飾
 - ・ ハローベビー教室の実施
 - ・ パパママ学級の実施

● ホームページ [さんばはうす葛飾](#) 検索

問い合わせ <子ども家庭支援課> 直通電話：03-3602-1387



かつしか少年キャンプ村



小学生とジュニアリーダーの交流会



「ジュニア・リーダー講習会」には
たくさんの中学生在が参加します



講習会の様子



毎年、元気いっぱいのジュニアリーダーが誕生しています！

元気です！ 地域の子ども会 ジュニアリーダーが教える“遊び学”

葛飾区子ども会育成会連合会

- Point ① 区内の子ども会 93 団体の健全な育成
- Point ② ジュニア・リーダー講習会を実施
- Point ③ 昭和 36 年発足、半世紀以上にわたる活動実績



会長 石橋 健一さん

子どもたちの
成長する過程がわかって…
やりがいがありますね

子どもが大好きなんです。一緒に活動していく中で、子どもたちの笑顔に出会ったり、成長する過程がわかって…。

地区委員会とか親同士の関わり合いもあって、やりがいがありますね。地域の活性を担っている自負があります。

親たちも盛り上がっていますよ。イベントで、一緒にダンスをやったり、皆さんとても楽しんでます。

今後についてですか？子どもはもちろんですが、親同士が知り合える環境をもっとつくりたい。そういった組織になっていけば輪がどんどん広がっていくと思います。もっと外側からのアドバイスというか、一緒に活動してくれる大人の方を、募りたいですね。

INTERVIEW

葛飾区子ども会育成会連合会は、昭和36年に結成され、子どもたちの健全な育成や、地域の活性などを目的に、93団体、27000人余りが活動しています。区との協働事業は、「葛飾区子どもまつり」や「かつしか少年キャンプ村」、「ジュニア・リーダー講習会」があります。

毎年4月に水元公園で開かれる「葛飾区子どもまつり」は、小学生有志によるダンスや竹馬・ベーゴマコーナーなど多彩なイベントが行われ、参加者は約2万人、子どもたちの歓声がこだまする楽しい一日になります。

「ジュニア・リーダー講習会」は、中学生が、リーダーとして必要な知識や技術を習得するために実施しているもので、初級、中級、上級とランクがあり、上級卒業者のジュニアリーダークラブは、「かつしか少年キャンプ村」や「わんぱく相撲葛飾大会」などの運営に関わっています。

子どもの遊びの安全性については、KⅡ危険、YⅡ予知、TⅡトレーニングの合言葉で、ジュニアリーダーをはじめ、連合会として特に力を入れています。

協働の仕組み

区

- 地域教育課
- ・ 共催イベントの実施
- ・ 事業費の一部を助成

団体

- 葛飾区子ども会育成会連合会
- ・ 区との共催
 - 葛飾区子どもまつり
 - かつしか少年キャンプ村
 - ジュニア・リーダー講習会
- ・ 各種イベントの参加
 - はたちのつどい
 - かつしかスポーツフェスティバル
 - わんぱく相撲葛飾大会





ジュニアリーダーや
プレイリーダーが
デイキャンプをサポート

初めて包丁を使う子も！

地元の大工さんとプレイリーダーたちが
巨大遊具を手づくりしました



キャンプ
ファイヤーの
大きな炎に
子どもたちは
大興奮！

遊びの基地 にいじゅくプレイパーク 子どもたちが自分の責任で自由に遊ぶ

にいじゅくプレイパークの会

- Point ① にいじゅくプレイパークの会が“遊び場”を管理運営
- Point ② 新しい形の遊び場として平成9年に開園
- Point ③ プレイリーダー養成研修会を継続的に実施



会長 矢作 東一さん(中央) / 副会長 山田 圭子さん(左) / 副会長 山蔭 則行さん(右)

子どもたちが遊びの中で
トラブルをどう解決していくか
大人が見守る忍耐と勇気も大切ですね

「イキイキしている子どもたちの顔を見ることが一番のやりがいですね。子どもたち同士が、彼らの社会を形成するなかで、一緒に成長していけるような、安全に配慮した環境をつくり続けていきたいです」(矢作さん)

「子ども同士のトラブルもありますけど、できるだけ見守るようになっています。子どもたちが、どうやってその問題に関わり、解決していくか、我々大人が見守る忍耐と勇気も大切だと思いますね」(山田さん)

「昔プレイパークで遊んでいた子どもが、大きくなってプレイリーダーとして運営してくれることがあるんです。そうして受け継がれていくことは、子どもたちの成長を実感できて、嬉しいですね」(山蔭さん)

プレイリーダーの
手づくりの工具箱は
折りたたんで移動できます



にいじゅくプレイパークは、「冒険岩」と呼ばれる手づくりの大型複合遊具のある広場(2991平方メートル)と、「遊びの基地」(平屋の建物)があり、子どもたちが自由に遊ぶことのできる公園です。平成9年に開園しました。

にいじゅくプレイパークの会は、青少年育成地区委員会委員やPTA、子ども会育成会会員などで構成され、区から公園の管理を委託されています。主な活動としては、高校生から70代までの「プレイリーダー」を毎日3人配置し、子どもたちの遊びを安全面でサポートしています。季節のイベント「さつまいも収穫祭」なども企画。人気の「デイキャンプ」は、他の地域からも子どもたちが参加。みんなでテントを組み立てたり、カレーの調理で包丁の使い方を学んだりします。夜は、ジュニアリーダーの指導によるキャンプファイヤーやプレイリーダーが企画したナイアガラ花火などで盛り上がりします。

昨年は、開園から20年を迎え、今後はプレイリーダーを養成する研修会に力を入れるなど、より安全な環境づくりを心掛けていきます。

協働の仕組み

- 区
- 地域教育課
 - ・管理運営委託
 - 公園課
 - ・土地の管理など
 - 防災課
 - ・防災活動拠点の管理

団体

- にいじゅくプレイパークの会

構成：地域の青少年育成地区委員会委員・青少年委員
PTA・子ども会育成会会員・児童委員 など
- 世話人会
 - ・プレイリーダーの配置
 - ・門の開閉
 - ・団体利用受付・貸出
 - ・イベントの企画運営
 - ・施設整備業務
- プレイリーダー
 - ・子どもの遊びの支援
 - ・園内の安全配慮
 - ・園内遊具の管理
 - ・工作指導 など



会場を訪れた区長

たくさんの来場者が訪れました



会場案内や受付をする実行委員会の皆さん



熱心に話を聞く中学生や保護者の皆さん

未来につながる! かつしか進路フェア 中学生の進路選択をサポート

かつしか進路フェア実行委員会

- Point 1 中学生の進路選択の幅を広げる
- Point 2 都立および私立高等学校等 約100校が参加
- Point 3 不登校や学習に悩む子どもの相談なども実施



前実行委員長 福島 賢一さん(左) / 実行委員長 中道 浩一さん(右)

中学生やその保護者からは「開催日を増やして欲しい」という声をいただいています

「この活動は、もともと台東区で行っていた進路フェアを、葛飾区の中学校OBPTA連合会が見学に行つて、これはいい企画だと思ひ、翌年からすぐ始めたんです」(福島さん)

「フェアに来場する中学生やその保護者からは、『とても参考になったので、開催日を増やしてほしい』とか『高校の先生の話だけでなく、生徒の話も聞きたかった』などの声もたくさんいただきました」(中道さん)

「現役のPTAの皆さんの負担を減らすことも一つの目的の一つなんです」(福島さん)

「毎年8月の開催に向けて準備が大変ですが、協力していただく多くの人の力と、その熱意に支えられて開催できています」(中道さん)

かつしか進路フェア実行委員会は、中学生の進路選択をサポートするため、都立および私立高等学校等が参加する「かつしか進路フェア」を開催しています。実行委員会のメンバーは、葛飾区の中学校OBPTA連合会や青少年委員会、おやじの会、中学校長会の他に、不登校や学業資金の相談に対応している協力団体などで構成されています。

「かつしか進路フェア」は、毎年8月、テクノプラザかつしかで行われ、都立および私立高等学校等約100校が参加。訪れた中学生や保護者は、各学校のブースで、高校等の職員から学校生活の様子や、入試の説明を聞きました。

また不登校や、学習の悩みに関する相談、そして学費の相談も実施されました。「中学生が、進路を選択する幅が広がった!」など来場者の評判も良く、来場者の数は年々増えています。

「かつしか進路フェア」は、実行委員会が事業を企画・運営し、教育委員会が会場の提供や広報活動をしています。また、近隣の企業や協賛団体からの協賛金も運営の大きな力となっています。

協働の仕組み

区

生涯学習課

- ・ 広報
- ・ 申込受付
- ・ 会場提供 (平成29年度は都立南葛飾高等学校で実施する予定)
- ・ 関連資料の提供
- ・ 運営支援

団体

かつしか進路フェア実行委員会

- 構成
 - ・ 葛飾区立中学校OBPTA連合会
 - ・ 葛飾区青少年委員会
 - ・ 葛飾区おやじの会
 - ・ 不登校や学業資金等の相談に対応している協力団体 等
- 後援
 - ・ 葛飾区立中学校長会
 - ・ 葛飾区立中学校PTA連合会
- ・ 事業の企画、運営、PR

● ホームページ [かつしか進路フェア実行委員会 facebook](#) 検索

問い合わせ <生涯学習課> 直通電話：03-5654-8479



掘り出し物を見つけようと
たくさんの方が詰め掛けます



リサイクルしたい
品物があったら
私たちに
相談してください

葛飾区消費者団体連合会は、平成元年から、毎月第2土曜日に、消費生活センターの展示室でリサイクルコーナーを開設、家庭で不要になった生活用品を展示・販売しています。

販売する生活用品は、区内在住の出品者から預かった衣類や雑貨品などで、新品または新品同様のものに限定しています。出品点数は、1人10点(衣類・バッグ類・靴類は各3点まで)です。価格は、1品の上限が3000円で出品者が決めます。販売日には、合計で1000点以上の生活用品類が会場に並び、午前10時の開始時間を前に、朝8時頃から行列ができるほどの人気です。

また、販売日にはフリーマーケットを同時開催し、抽選で当たった区民たちが7つのブースで、自分の品物を持参して販売しています。

連合会のメンバーは、消費生活センターと協働で、値段付けの相談、当日の販売、運営管理、後日の清算までを行っています。長年にわたって得た豊富なリサイクルの知識で適切なアドバイスをし、出品者たちに喜ばれています。

行列ができる 家庭の不要品販売 出品者を“リサイクルの知識”でサポート

葛飾区消費者団体連合会

- Point ① 家庭の不要品を手数料なしで展示・販売
- Point ② 区民の節約意識、ごみの減量、不要品の有効活用推進
- Point ③ リサイクルの知識で出品者をサポート



会長 谷茂岡 正子さん(下段・右)と消費者団体連合会の皆さん

家庭で不要になった物を
手数料なしで売れるので
このリサイクルは評判がよいです

家庭で不要になった物を手数料なしで売れるので、このリサイクルは大変評判がよいです。出品して売れた人たちが、帰りに豪華なランチをしているところ、などと嬉しそうに話しているのを見ると、疲れた気持ちも吹っ飛び、こちらまで嬉しくなります。

私たちは、預かった品物に値札をつけたり、売れ残った品物を保管して返品する作業をするんです。いちばん多い相談は、価格ですかね。売れる品物ですか？品質が良くて、新品で、価格が安いものです(笑)。石鹸とか、バスタオルとか、日常使う物です。

毎回、展示・販売は10時から始まるんですが、朝8時頃から並んでいます。楽しみにしている人たちが多いんです。

協働の 仕組み

区

●消費生活センター

- ・リサイクルコーナー、フリーマーケットの募集、広報
- ・リサイクル品販売日当日の販売・運営管理
- ・フリーマーケットの開催

団体

●葛飾区消費者団体連合会

- ・リサイクル物品の受け入れ
- ・値段付けの指導
- ・消費生活センター展示室で開催されるリサイクルコーナーの運営
- ・フリーマーケットの開催
- ・リサイクル品販売日当日の販売・運営管理、清算



それぞれの得意分野を活かし、助け合って修理しています

どうすれば直るか考えてチャレンジするのも面白い!



病院は、いつも大盛況!
たくさんのおもちゃが訪れます



盛況! おもちゃ病院 トイドクターが伝えるモノの大切さ

かつしかおもちゃの会

- Point ① おもちゃ病院で、おもちゃを無償で修理
- Point ② 修理されるおもちゃは、毎年300件を超える
- Point ③ 地域コミュニケーションの場としても定着



院長 鈴木 敏夫さん

無事に修理できて、依頼者の嬉しそうな顔を見ると、何とも言えない達成感を味わえます

僕たちはおもちゃが大好きなんです。この活動では、おもちゃを修理する喜びと、その持ち主からお礼を言われる喜びがあって、まさに「やりがい」になっているんです。

僕たちトイドクターは、それぞれ修理の得意分野があって、回路盤に詳しい人や、モーターに詳しい人など、みんなで補い合っていて、チームだと思っています。手に負えない状態のおもちゃもありますが、それをどうすれば修理できるかを考えて、チャレンジするところ「面白」があるんです。

無事に修理できて依頼者の嬉しそうな顔を見ると、何ともいえない達成感を味わえます。おもちゃを修理することで、子どもがモノを大切にすることを育てていきたいですね。

INTERVIEW

かつしかおもちゃの会は、平成12年に発足し、子どものおもちゃを無償で修理する「おもちゃ病院」を運営しています。

トイドクターとは、おもちゃの修理人"のことです。現在、修理の基本とノウハウを習得している7人の会員が、毎月第4日曜日にテクノプラザかつしかで、不具合のあるおもちゃの診察・修理を行っています。

修理するおもちゃはラジコン、幼児ピアノ、電車のおもちゃなど、配線が切れて動かなくなったり、ボタンを押しても音が出ないものなどさまざまな症状があります。おもちゃ病院には、1日に30から40件ほどの修理依頼があります。1年間に修理するおもちゃは、300件を超えています。

「おもちゃ病院」はモノの大切さを知ってもらうだけでなく、地域「コミュニケーション」の大切な場所でもあって、定年を迎えた団塊世代の新たな活動場所としても、注目を浴びています。



協働の仕組み

- 区**
- 商工振興課
 - ・運営業務委託
 - ・会のPR
 - ・おもちゃ病院の開催

- 団体**
- かつしかおもちゃの会
 - ・おもちゃ病院の開催
 - ・トイドクターによる修理



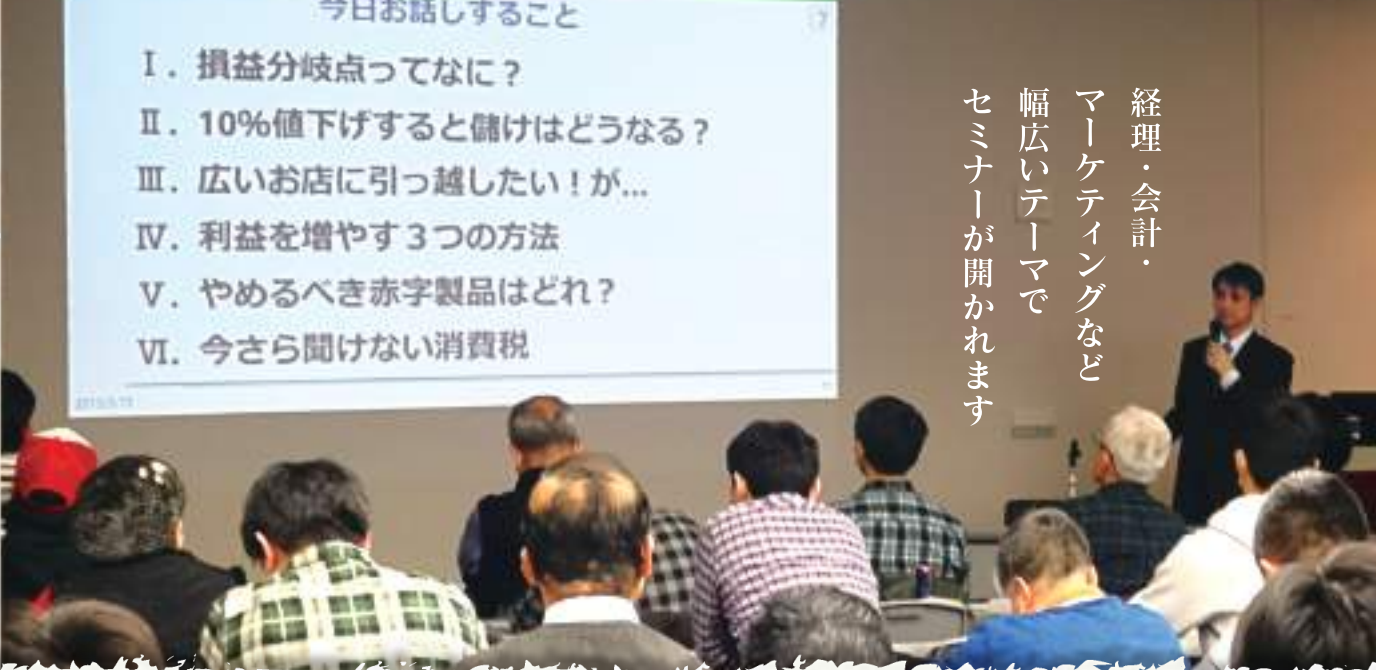
ビジネスセミナー



起業したい! 経営改善したい!
など...相談はさまざまです



女性限定の起業塾



- 今日お話しすること
- I. 損益分岐点ってなに?
- II. 10%値下げすると儲けはどうなる?
- III. 広いお店に引っ越したい!が...
- IV. 利益を増やす3つの方法
- V. やめるべき赤字製品はどれ?
- VI. 今さら聞けない消費税

経理・会計・
マーケティングなど
幅広いテーマで
セミナーが開かれます

ユニーク! 図書館でビジネス相談会 相談者の多くが起業!

一般社団法人 東京都中小企業診断士協会

- Point ① 図書館と“ビジネス”がマッチング
- Point ② 女性限定の起業塾も開催
- Point ③ 中小企業診断士の、きめ細かい対応が好評



城東支部 副支部長 大石 正明さん

色々な業種で、活気あるまちへ
そのためにも、私たちの役割は
大きいと思います

相談会は、「どんな相談にも親身になって応じてくれる」とか「具体的で的確なアドバイスをしてもらえる」と好評です。

特に、起業したい女性の相談者が多いですね。皆さん初めてですから手探りですよ。例えば飲食店なら、保健所の許認可や材料の仕入れなどきめ細かくアドバイスしています。起業した例も多く、やりがいを感じます。

葛飾は、製造業が多いまちですが、今、どんどん減って、このままだと住宅街だけのまちになりかねません。新しく出てくるサービス業があったり、特色がある商店があったり、色々な業種が集まって、活気あるまちになって欲しいです。そのためにも、私たちの役割は大きいと思います。

図書館でのビジネス支援サービスとして、一般社団法人東京都中小企業診断士協会は、葛飾区立中央図書館と立石図書館で、ビジネス相談会とビジネスセミナーを開催しています。ビジネス相談会は月1回実施され、中小企業診断士が、起業や経営改善などの相談に乗っています。相談者の業種は、IT関連、飲食業、仲人業など多岐にわたります。また、起業に向けてすでに動き出している方から、「起業はしたいけれど具体的なイメージがまだわいていない」という方までさまざまです。相談から、起業につながったケースも多数あります。「女性も活躍する社会」を反映してか、女性の相談者も多く、女性限定の起業塾も開いています。

また、ビジネスセミナーでは、経理・会計、事業承継、マーケティングなど幅広いテーマで、中小企業診断士が年10回程度、講演をしています。相談会もセミナーも会場が図書館のため、誰でも気軽に参加でき、好評な企画です。図書館では、相談会やセミナーの広報・申し込みの受付などを担当しています。

起業に興味のある女性に
好評な起業セミナーを開催

協働の 仕組み

- 区
- 図書館
 - ・ 広報
 - ・ 申込受付
 - ・ 会場提供
 - ・ 関連資料の提供
 - ・ 運営補助

- 団体
- 一般社団法人
東京都中小企業診断士協会 城東支部
 - ・ 個別相談への対応
 - ・ ビジネスセミナーの企画・実施

● ホームページ [東京都中小企業診断士協会城東支部](#) 検索

問い合わせ <中央図書館> 直通電話：03-3607-9201



高齢者健康づくり事業
グラウンド・ゴルフ



区民体育大会・少林寺拳法連盟



区民体育大会・なぎなた連盟



障害者スポーツ事業
ポッチャ



バスケットボール教室で
汗を流す子どもたち



区民体育大会総合開会式で
選手、役員らが
1年間のスポーツ活動に
決意を燃やす

“区民総スポーツ”のまちに! 活動歴68年!老若男女が健康増進

一般社団法人 葛飾区体育協会

- Point 1 68年間スポーツを通じた社会貢献活動を実施
- Point 2 スポーツ指導員登録制度を確立
- Point 3 老若男女を問わず、スポーツで健康増進



理事長 腰塚 幸男さん

初めて体験するスポーツで
皆さんの喜ぶ顔を見ると
やりがいを感じますね

昭和23年に8団体で始まったこの活動も、現在39団体に広がりました。

「スポーツを通じた地域への貢献」を目的に、葛飾区、加盟団体、地域スポーツクラブ等と連携し、多くの区民にスポーツを体験してもらっています。

いちばんのやりがいは、今までやったことのないスポーツを体験してもらったときに、皆さんの笑顔を見ることです。それがきっかけとなって、さまざまなスポーツを楽しんでもらえれば嬉しいです。

知名度が低かったり、一見難しそうなおスポーツも、もっと普及するように応援したので、運動する機会のない高齢者や障害のある方も含めて、気軽にスポーツを楽しんでもらいたいですね。

「区民総スポーツ」をスローガンに現在39団体で活動する一般社団法人葛飾区体育協会は、葛飾区のスポーツ振興と区民の体力向上を目的に、昭和23年に設立され(一般社団法人化は平成27年)、68年間スポーツを通じて社会貢献活動をしてきました。

当協会は、加盟団体が開催する区民体育大会の運営をはじめ、区と協働してサッカー、少年野球等のジュニアスポーツ教室を実施。また、スポーツ指導員登録制度をつくり、区内小学校や地域のコミュニティ施設に指導員を派遣し、バスケットボール、剣道等を教えています。

平成28年度は、行政との協働事業として、老若男女を問わずスポーツを楽しむながら健康を維持・増進する目的で、「区民健康スポーツ参加促進事業」を実施。なぎなたや弓道などの日本武道の初心者教室や、障害者を対象にした車椅子アーチェリーなどを実施しました。

当協会では、かつしか地域スポーツクラブの育成など、「生涯スポーツ」の更なる充実に向け、今後も意欲的な活動をしていきます。

団体

- 一般社団法人 葛飾区体育協会
 - ・区民健康スポーツ参加促進事業の実施
 - ・区主催事業への連携・協力
 - ・葛飾区スポーツ推進委員の推薦
 - ・生涯スポーツの充実への取り組み
 - ①区民体育大会の実施
 - ②高齢者対象事業の拡大・充実
 - ③ジュニアスポーツの育成・強化
 - ④スポーツ指導員登録制度の確立
 - ⑤かつしか地域スポーツクラブとの連携・支援

協働の仕組み

- ・スポーツ推進方策の検討
- ・区民との協働事業の推進
- ・障害者スポーツ環境の整備
- ・区民体育施設の区民利用促進

区

生涯スポーツ課

- ・体育協会および加盟団体主催主管事業会場確保・支援
- ・補助金交付
- ・功労者に対する顕彰・葛飾区スポーツ推進委員協議会の事務局
- ・東京都および東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と団体との調整



参加者は得意の歌や踊りなどを披露！
日ごろから練習にいとむ人も...

会員の手づくりお赤飯とおでん、漬物でおもてなし、会話ははずみです



この日は、発表する人も観る人も大いに盛り上がります

高齢者の孤立化を防ぐ みんなが心待ち“ふれあいの集い”

グレースかつしか



会長 伊藤 英子さん

- Point 1** 年2回、高齢者の「ふれあいの集い」を開催
- Point 2** 高齢者の生きがいの場を提供
- Point 3** ひとり暮らしの高齢者に声かけ、引きこもりの防止

グレースかつしかは、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らせるように、引きこもりや孤立化を防ぎ、社会参加を支援するボランティア団体です。主な活動として、地域コミュニティ施設(主に憩い交流館)を活用して年2回「ふれあいの集い」を開催しています。

この集いでは、高齢者のグループがダンスを発表したり、カラオケ、福引などのゲームに興じたり、ひとり暮らしなどで日ごろ会話の少ない高齢者同士が交流し、楽しい時間を過ごしています。昼食には、会員たちがつくった赤飯、おでん、漬物が振る舞われ、舌鼓を打ちながら話に花が咲きます。この日を待ち望んでいる方も多く、遠方からバスを乗り継いで来る方もいます。区では広報紙「区民のひろば」を通じて広く参加を呼びかけています。

また、グレースかつしかは、ひとり暮らしの高齢者を中心に声かけを行うなど、引きこもりの防止にも取り組んでいます。会員たちは、高齢者に生きがいの場を提供するこうした活動を、さらに続けていきたいと意欲的です。

協働の仕組み

区

- 地域振興課
 - ・ 活動場所の提供
 - ・ 助成金の交付
 - ・ 広報かつしかによる募集(ふれあいの集い)

団体

- グレースかつしか
 - ・ 声かけによる単身高齢者などへの取り組み(地域の高齢者の引きこもり防止活動)
 - ・ ふれあいの集いの開催(年2回)



ふれあいの集いは、高齢者の皆さん心待ちにしている、とても人気があります。「楽しかった」とか「面白かった」などと声をかけられると、私たちも、やってよかった、お役に立っているんだなあ、って感じます。だって、フラダンスを発表するグループが、開催の3、4か月前前から練習したり、熱の入れ方が凄いですよ。皆さん、ふれあいの集いが発表の場としてちょうどいいですね。観る人たちも一緒に踊ったりして大いに盛り上がります。

昼食としてお赤飯をお出しするのですが、前日から支度をはじめて、当日の朝は5時くらいから、お赤飯づくりをします。これが美味しいんですよ(笑)。スタッフは、平均年齢70歳くらいです。皆さんごく元気ですよ。

スタッフは、平均年齢70歳くらいです。皆さんごく元気ですよ。

INTERVIEW



手話通訳者の育成にも熱が入ります

“わかりやすく伝える”技術で 聴覚障害者に寄り添う手話通訳者

葛飾区登録手話通訳者協会

- Point 1** 手話通訳者の派遣・育成
- Point 2** 30名の手話通訳者が登録
- Point 3** 区や社会福祉協議会と手話通訳者の研修会を実施



会長 会田 ゆき江さん

聴覚障害者に合わせて伝える方法を学んだり…メンバーの皆さん、一生懸命です

手話を通じたコミュニケーションには、互いの信頼関係が欠かせません。例えば、聴覚障害者である患者の状態を医師へ伝えたり、医師からの説明や注意事項を患者に伝える場合も同じです。良い関係を築きながら進めるためにも、手話通訳者派遣制度を使ってもらえると良いと思います。

聴覚障害には個人差がかなりあります。筆談で会話をしたり文章を理解できる人もいる一方で、手話以外のコミュニケーションが難しい人もいます。

手話技術のスキルを向上させることももちろん大切ですが、どう伝えるか、相手に合わせて伝える対応方法を、講師を呼んで教えてもらったり、話し合ったりしています。メンバーの皆さん、とても一生懸命です。

葛飾区登録手話通訳者協会は、葛飾区に登録されている手話通訳者の団体です。葛飾区登録手話通訳者協会には、現在、30名の手話通訳者が登録し、活動しています。

聴覚障害者の生活を豊かにし、社会的地位を高めることが主な目的で、手話通訳者の派遣の他に、月1回、手話通訳中のできごとやトラブルなどをメンバーたちが情報共有し、活動の改善に向け、会議や研修を行っています。

また年に4回、区や社会福祉協議会との共催で、手話通訳者の研修会を実施しています。手話通訳者の育成にも力を入れています。社会福祉協議会が開催している区民向けの手話講習会へも講師を派遣しています。

葛飾区登録手話通訳者協会では、単に言葉を通訳するだけではなく、絵などのビジュアルを使って、聴覚障害者に分かりやすく伝える方法をさらに研究したり、いずれは、聞こえる人と聞こえない人がコミュニケーションできるようなしていくことも自分たちの役割と考え、活発な活動を展開しています。

協働の仕組み

団体

- 葛飾区登録手話通訳者協会
 - ・手話通訳者会議の開催
 - ・研修会の開催(自主研修・区、社会福祉協議会との共催研修)
 - ・情報交換(区、社会福祉協議会との懇談会)

事業者

- 社会福祉協議会
 - ・研修会の開催(団体、区との共催研修)
 - ・情報交換(団体・区との懇談会)
 - ・手話通訳者の派遣

区

- 障害福祉課
 - ・研修会の開催(団体、社会福祉協議会との共催研修)
 - ・情報交換(団体、社会福祉協議会との懇談会)
 - ・事業の委託(社会福祉協議会)
- 福祉管理課
 - ・補助金の交付(社会福祉協議会)



奇数月1回、定例会の様子



障害のある方やその家族が集まって、親睦を深めています



枝豆の収穫にみんな没頭!

高次脳機能障害者とその家族を地域ぐるみで支える

高次脳機能障害者 家族会かつしか 高次しょうぶミニデイサービス

- Point ① 社会参加のためのミニデイサービスを実施
- Point ② 障害者とその家族の相談にのる定例会を開催
- Point ③ 障害者とその家族の生活の向上を目指す



会長 山崎 サカエさん
山田 幸子さん(左)/山本 ハルミさん(中央)/佐藤 貞子さん(右)

家族が障害を持っていても1人で悩まないで欲しいという思いで活動しています

家族が倒れてすぐの相談者は、頭が真っ白ですよね。自分も経験しているので相談者に、ウチのお父さんと同じだわ、って言ったり、苦労話をすると、自分だけじゃないんだ、みんな頑張っているんだ、って勇気を持ってもらえるよってです。

やりがいですか？ 障害当事者の病状が良くなってきたときは、やっぱり嬉しいですね。

この活動は、自分の励みになります。相談者から逆に、元気になったわね、なんていわれるときもあるんです。あたたかさが、目に見えるんです。

メンバーには、ご主人を亡くした方もいます。自分たちの体験から、家族が障害を持って1人で悩まないで欲しいという思いで活動しています。



高次脳機能障害とは、主に脳の損傷によって起こる記憶障害、注意障害、社会的行動障害などの認知障害です。

「高次脳機能障害者家族会かつしか」は、こうした障害がある幅広い年齢の方と、その家族に対して相談会を開き、地域で孤立しないように社会参加を目指す「高次しょうぶミニデイサービス」を実施しています。現在参加者は30人で毎月第三土曜日に、ウェルピアかつしかで行われ、調理やテーブル卓球、輪投げ、ミニ運動会などを楽しんでいます。

また奇数月に1回、定例会を開き、高次脳機能障害がある方や家族、ボランティアなどが集まって交流を深め、障害当事者の意見を尊重するかたちで、相談や意見交換を行い、障害者とその家族を地域ぐるみで支えています。

この取り組みに、区は定例会の場所やミニデイサービスの実施法などノウハウを提供しています。障害者とその家族、そして「家族会かつしか」が共に励み合い、生活の向上を目指すこの活動は、参加者も徐々に増え、地域での広がりを見せています。

- 団体
- 高次脳機能障害者 家族会かつしか 高次しょうぶミニデイサービス
 - ・ デイサービスの実施
 - ・ 定例会の開催(奇数月に1回)
 - ・ 家族会の運営

- 区
- 障害者施設課
 - ・ 活動場所の提供
 - ・ デイサービス実施支援

協働の仕組み

日頃から在宅要援護者の情報収集にあたっている協議会の皆さん



大規模災害から体の不自由なお年寄りを守れ!

葛飾区介護サービス事業者協議会

- Point ① 大規模災害発生時の在宅要援護者の安否確認など
- Point ② 在宅要援護者の安全確保に関する協定を区と締結
- Point ③ 日常の見守りから緊急連絡カードを作成



会長 吉田 博さん

有事の際の避難誘導を早く！何も起きなくても、避難してよかった、という気持ちが大切

大規模な災害時の避難誘導は、もちろん早め早めに行わなければなりません。そのためにも日頃から要援護者の皆さんの情報を集め、緊急連絡カードをつくって区と共有しています。要援護者の皆さんからは、普段からよくケアマネジャーに電話がかかってくる。皆さん不安で、ケアマネジャーの声を聞くと安心するんですよ。

有事のときは、なおさら不安になるでしょうから、私たちも頑張ります。自然災害は、何が起きるかわかりません。避難して何も起こらなかった場合、なぜ、避難しなければならなかったのか。と考えるのではなく、何も起きなかったのだから良かったんだ、という考え方が大事です。

INTERVIEW

経過	行動
地震発生 ※1分程度	<ul style="list-style-type: none"> 身を守る 室内では、家具や冷蔵庫などから離れて、机やテーブルなどの下にもぐる。 屋外では、海や池のそばから離れる そばやくまの結実をする 大音で「火を消せ」と叫ぶ ガスの元栓を締める 脱出口の確認 ドア、窓を開けて出入り口の確保をする 避難場所の安全な場所へ避難する

有事の際にすみやかな誘導を行うためマニュアルを用意している

もし大規模な地震や風水害に、在宅で自ら動けないお年寄りが遭遇したら... 葛飾区介護サービス事業者協議会は、震度5強以上の大規模な地震や風水害の発生時に、在宅で自ら動けない方たち(2人以上、在宅で自ら動けない方たち)を対象に、安否の確認や避難誘導、安否情報を区に報告するなどの協定を、平成25年8月、葛飾区と結びました。

この活動は、大規模災害時、在宅要援護者の安全確保を目的としたもので、常日頃からの情報収集が大切です。協議会のメンバーたちは、在宅要援護者たちの病状をはじめ、自宅の位置が、水害等に襲われる危険な場所かどうか、などを記載した「緊急連絡カード」を作った。保管、区と情報共有して有事に備えています。また、見守りなどを通じて要援護者に寄り添うことで、災害時の不安の解消にもつながるよう取り組んでいます。

葛飾区では、400の介護サービス事業者が、在宅要援護者の安全確保に向けた活動に関わっており、自治町会や民生委員とも連携して町を守っています。



協議会会員に配られるプレートの授与式

災害に備えよう！協定 災害時協力協定 締結事業者



協働の仕組み

- 区
- 防災課
 - 協定の締結
 - 介護保険課
 - 活動支援
 - 情報連携

災害時における在宅要援護者の安全確保に関する協定

- 団体
- 葛飾区介護サービス事業者協議会
 - ※大規模災害発生時
 - 在宅要援護者の安否確認・避難誘導など、安否情報などを区へ報告



● ホームページ 葛飾区介護サービス事業者協議会 検索

問い合わせ <介護保険課> 直通電話：03-5654-8246

花いっぱい
まちづくり活動のPRに
レポーターたちが大活躍



ミーティング

月に1度ミーティングして情報交換。
取材してホームページに投稿します



取材の様子

花と人をイキイキと撮った
写真で花いっぱい活動をPR



花いっばいの まちをレポート

ホームページでPR! 活動・花の写真

花いっぱいレポーター

- Point ① 花いっぱい活動の写真をホームページでレポート
- Point ② 花いっぱいレポーターは、区から委嘱
- Point ③ 花を通じて、人の輪づくり



代表 佐々木 定治さん

花に、子どもが関わり、
大人が関わり、道行く人が関わって
花いっぱいには人の輪です

現役(仕事)を離れてしまつて、自分の好きなものを好きなように暮らしに取り入れることができるんですね。私は小さい頃から花が大好きだったものですから、今の活動は自分の生きがいにつながっています。

撮った写真について「撮り方の視点がよかつた」などと感想をいただくと、やはり嬉しいです。私たちレポーターは、プロの先生から写真の撮り方を教わっていますので、研修にも身が入ります。

私が担当している保育園の例では、確実に地域の輪が広がっています。花を通じて、人と人の繋がりができています。子どもも関わり、大人が関わり、道行く人が関わって。花いっばいは、人の輪です。活動をやって良かったな、と思います。

INTERVIEW

花いっばいレポーターは、葛飾区内の花いっばい活動を取材してホームページなどで紹介するボランティアの人たちです。活動を、写真と文字でレポートし、また区内の花の開花状況や、かつしか花いっばいのまちづくり推進協議会の「サロン・ド・花いち」「コンテナガーデン作り方講座」などをレポートします。

レポーターは、区から委嘱された7人で、3〜4週に1回、ミーティングを開いて情報を交換し、各団体の取材を進めています。

平成27年4月、葛飾区では、「かつしか花いっばいのまちづくりホームページ」を開設しました。活動を行っている団体や個人が、「花壇コンクール」や「緑のカーテン」などの活動をPRしたり、情報交換をするのが目的で「区民がつくる区民のためのホームページ」を目指しています。

花いっばいレポーターは、ホームページの操作に慣れていない団体に代わって、花いっばい活動の写真や文をホームページに投稿する大切な役割を果たしています。

花 いっばいのまちづくり



区 民

- 花いっばいレポーター
 - ・花いっばいのまちづくり活動団体の活動などのレポート
 - ・区内の花の開花状況などをレポート
 - ・かつしか花いっばいのまちづくり推進協議会の活動などをレポート

協働の 仕組み

区

- 環境課
 - ・レポーターの委嘱
 - ・かつしか花いっばいのまちづくりホームページの管理、運営

● ホームページ [かつしか花いっばいのまちづくり](#) 検索

問い合わせ <環境課> 直通電話：03-5654-8239



年内のゴミの収集は終了しました
ゴミを出さないで

種類	年末	年始
プラ	12月29日	1月5日
不燃	12月24日	1月14日
資源	12月26日	1月9日
可燃	12月30日	1月6日

通行人の皆さん
たばこやゴミの
ポイ捨て禁止!

1月15日(土曜日)
椅子にゴミを
捨てるのを
監視して下さい!

排水溝はゴミ捨て場
ではありません
ポイ捨て禁止

監視カメラの映像をチェック!
警告文を貼り出す

監視カメラ映像
1月2日の午後
にゴミを捨てた人
今後注意して下さい

不法投棄監視中



「ごみ・資源に関する
出前講座には
たくさんの方が
参加しています」

「ごみに関するマナー向上のために
手づくりのポスターを設置しています」

不法投棄、
ポイ捨て

されない環境づくり 地域のできれいなまちに!

東金町中央自治会

- Point ① 「地域との協働による不法投棄防止対策」
モデル事業第2期の実施地域
- Point ② タバコがポイ捨てされにくい環境づくり
- Point ③ きれいなまちを、自主的に、ゆるやかにつくる



会長 中山 弘則さん(左) / 副会長 齊藤 勝代さん(右) / 衛生部長 原崎 登さん(中央)

人は汚い場所を汚すことには
抵抗がありません。だから、いつも
きれいにしておくことが大切です

「ごみの問題は一人ひとりのモラルです。それにはイベントなど交流の場で顔を合わせて関係を築き、この「悪いこと」はできないと感じてもらうことが必要ですよね(中山さん)」

「自宅前の通りや集積所を10年以上、ほぼ毎朝出勤前に掃除していますが、不法投棄防止活動を始めてからは、自治会内でも掃除をする人が増え、ポイ捨ても減りました。集積所が汚いとポイ捨てをされるので、いつもきれいにしておくことが大切なんです」(原崎さん)

「集積所の管理などもできる人ができるときにやる、ようにしています。気づいたらお願いしますねと伝えていきます。みんな協力してくれますよ(齊藤さん)」

東金町中央自治会は、平成26年に不法投棄防止対策モデル事業第2期実施地域として区と連携しながら、きれいで住みよいまちづくりを目指しています。

同自治会は、不法投棄の多い場所に監視カメラなどを設置しましたが、当初はあまり効果がなく、粗大ごみなどが捨てられました。このため、パトロールや粗大ごみ回収のルールを伝える警告札を貼り、さらにごみの分別の徹底やチラシのポスターなどを続けるうちに、ごみに対するマナーが向上してきました。

東金町地区は駅に近い地域のため、通勤時にタバコのポイ捨てが多いのが悩みでした。排水溝の付近などに注意喚起のポスターを設置したほか、すべての集積所には、ほうきとちりごみを完備し、気づいた人がすぐに片づけられるように工夫しました。日頃からこまめな清掃を心掛け、ポイ捨てされにくい環境づくりをしています。

同自治会では当番制などで強制するのではなく、自主的な参加を促し、ごみ問題に対する意識をゆるやかに高めていく活動を進めています。

協働の仕組み



団体

- 東金町中央自治会
 - ・不法投棄監視パトロールの実施
 - ・地域やごみ集積所などのこまめな清掃
 - ・ごみ集積所などに警告看板を設置
 - ・監視カメラ設置場所の状況確認、区への報告
 - ・職員出前講座を活用した「ごみ・資源に関する学習」
 - ・警告札の貼付
 - ・不法投棄防止実行委員会の設置



区

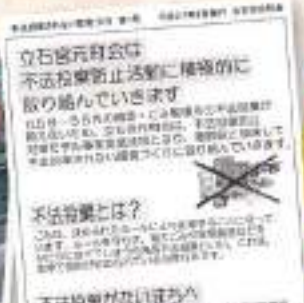
- リサイクル清掃課
- 清掃事務所
 - ・警告看板の作成
 - ・監視カメラの設置、運用
 - ・警察に悪質な不法投棄の相談



不法投棄、ストープが!



自転車も捨てられています



職員出前講座には60人以上の人が集まりました



職員出前講座の様子



防犯カメラ



オリジナル! 黄色いごみ集積ネット

不法投棄が多い場所をパトロールしています



監視カメラ作動中
悪質な不法投棄を確認した場合は、警察へ通報します。



必撮! ごみの不法投棄 監視カメラの画像で警告!

立石宮元町会

- Point 1 正しいごみの分け方・出し方を知る
- Point 2 監視カメラの画像を貼り出して警告
- Point 3 「地域との協働による不法投棄防止対策」モデル事業第3期の実施地域



上段: 滝沢 照子さん(左) / 佐藤 小夜子さん(右)
下段: 会長 清原 正嗣さん(左) / 総務部長 瀬々 昌宏さん(右)

ごみを捨てに行くことができないお年寄りもいます。周囲の区民が協力してごみ捨てを代行しています

「橋の下の集積所は不法投棄が絶えず困っていました。この取り組みにより、車で投棄する人が少なくなりました」(清原さん)

「立石宮元町会は、住民一人一人のごみ問題に対する意識が本当に高いんです。区役所の職員が行う「職員出前講座」には、町会などから60人以上が参加していますね。皆さん、一致団結して、ごみ集積所の美化に取り組んでいます」(瀬々さん)

「ごみ捨てに行くことができないお年寄りもいるんですね。そうした場合は、周囲の区民が協力して、ごみ捨てを代行しています。ごみの分別が間違っていたりときは、分けて捨ててあげたりしています。助け合いですからね!」(滝沢さん・佐藤さん)

協働の仕組み

区

- リサイクル清掃課
- 清掃事務所
 - ・ 警告看板の作成
 - ・ 監視カメラの設置、運用
 - ・ 警察に悪質な不法投棄の相談

監視カメラに映った不法投棄の現場を印刷して掲示します



団体

- 立石宮元町会
 - ・ 不法投棄監視パトロールの実施
 - ・ 地域やごみ集積所などのこまめな清掃
 - ・ ごみ集積所などに警告看板を設置
 - ・ 監視カメラ設置場所の状況確認、区への報告
 - ・ 職員出前講座を活用した「ごみ・資源に関する学習」
 - ・ 監視カメラ映像を貼付した警告の掲示



葛飾区美術会には、葛飾ゆかりの美術家たちが49名所属しています(平成28年9月現在)。日本画に水墨画、油彩、版画や彫刻、刀剣、彫金等とジャンルは幅広く、重要無形文化財保持者(人間国宝)もおり、実力のある美術家揃いです。

平成3年に区内の美術家有志により、同会は結成されました。翌年に「第1回葛飾の美術家展」を、かつじかシンフォニーヒルズの落成記念として開催しました。

平成28年には「第25回記念葛飾の美術家展」が開かれ、墨のパフォーマンス、舞扇の扇面画入門、裸婦を描くワークショップ、絵手紙入門など多彩なイベントが催されました。目玉は、刀匠の第一人者、吉原義人さんの講演会です。各イベントには多くの人が訪れ、人気の高さがうかがえました。

会員が制作した美術品は、区役所の新館5階をはじめ、葛飾にいじゅくみらい公園管理棟、かつじかシンフォニーヒルズ本館1階などに無償で展示され、訪れる人々を楽しませています。



平成3年に区内の美術家有志により、同会は結成されました。翌年に「第1回葛飾の美術家展」を、かつじかシンフォニーヒルズの落成記念として開催しました。

平成28年には「第25回記念葛飾の美術家展」が開かれ、墨のパフォーマンス、舞扇の扇面画入門、裸婦を描くワークショップ、絵手紙入門など多彩なイベントが催されました。目玉は、刀匠の第一人者、吉原義人さんの講演会です。各イベントには多くの人が訪れ、人気の高さがうかがえました。

会員が制作した美術品は、区役所の新館5階をはじめ、葛飾にいじゅくみらい公園管理棟、かつじかシンフォニーヒルズ本館1階などに無償で展示され、訪れる人々を楽しませています。

地元でこそ誇りたい！ 美術界を担う、葛飾ゆかりの美術家たち

葛飾区美術会

- Point 1** 葛飾ゆかりの美術家49名が所属
- Point 2** ジャンルの幅広さ(絵画・彫刻・刀剣等)
- Point 3** 区の施設に無償展示



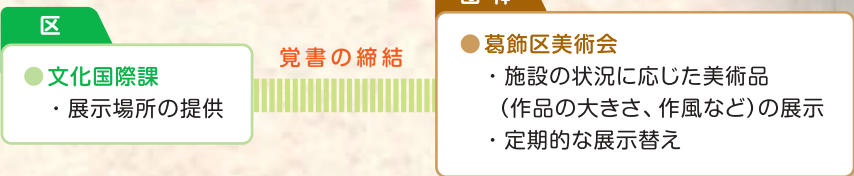
会長 布目 勲さん

展示会に葛飾の多くの人が足を運んでくれることは私たちの誇りです

もともとは昭和26年に、葛飾在住の人間国宝の方を含む美術家たちが、会を立ち上げたそうです。その会は一旦立ち消えただけで、葛飾の美術家を地元の人たちに知ってもらいたいという、先輩たちの想いが引き継がれて、今、私たちの会があると思っています。だから絶対に絶やしてはならない、その使命で続けています。かつじかシンフォニーヒルズができて、ようやく飾る場所ができました。美術家たちは、どうしても銀座や海外などが発表の中心になりますが、私たちは、葛飾に住む人々に活動を知っていただきたいの思いもあり、特に葛飾で展示会を開くことを大事にしています。葛飾の多くの人が足を運んでくれることは、私たちの誇りです。

INTERVIEW

協働の仕組み

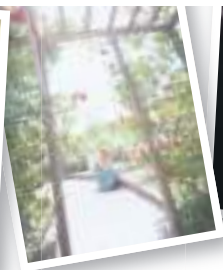


● ホームページ [葛飾区美術会](#) 検索

問い合わせ <文化国際課> 直通電話：03-5670-2259



示会には、多くの方が来場し
写真鑑賞を楽しんでいました



青木区長と萬里崎代表



いい写真を撮って
皆さんに見ていただきたいと
技術を磨いています

文化芸術のまち葛飾! アートな写真が公共施設を彩る

写団「耀 (かがやき)」

- POINT 1 文化芸術の発展に寄与
- POINT 2 身近な地域で、芸術作品に触れ、楽しめる
- POINT 3 写真の展示場所として、区の施設を無償提供



代表 萬里崎(まりさき) 幸男さん

「感動しました」などと言われると
地域のお役立ちになつているの
かなつて、思います

子どもの頃から、写真を撮るのが好きでしたね。その後、道端の道祖神に惹かれ、仏像の世界にのめり込んで写真を撮り続けています。
感動した、とかもつと皆さんの写真が見たい、どこで見られるんですか、などと声をかけてもらうと、地域のお役立ちになつているなつて思えて私たちも嬉つています。
いい写真の撮り方ですか? ひとつあげるとすれば、1カットの中の情報量を少なくしてテーマを際立たせるんです。会員たちも、いい写真を撮つて、皆さんに見てもらつて一生懸命です。
知らない者同士が、写真でつながり、「コミュニケーション」を深めていく…。なんか、まちも殺風景じゃなく明るくなりますよね。

INTERVIEW

かつしかシンフォニーヒルズ本館1階に作品を展示している写真サークルの写団「耀」(かがやき)。メンバーたちが撮る写真は、単なる風景写真ではなく、アート感溢れる心象風景などが特長です。絵画のような写真も多く、美術品としての価値ある作品が揃っています。

メンバーたちは、毎月第2土曜日に定例会を開き、第16回蒼樹展文部大臣賞などに輝いている写真家、萬里崎幸男代表のもとで写真の技術を磨いています。メンバー19人のうち、3分の2が女性写真家です。時にはメンバー全員で、撮影旅行なども楽しんでいます。
区では、このような区内で活動する美術団体と協働して、区施設へ美術作品の展示を進めています。写団「耀」は、定期的に作品の展示替えをしています。季節に応じた作品は、施設の利用者に大変好評です。写団「耀」では、区民の皆さんに多くの作品を楽しんでもらい、文化芸術に親しめるまちづくりに貢献したい方針です。

写団「耀」第44回展
メンバーの作品



協働の仕組み

<p>区</p> <ul style="list-style-type: none"> ●文化国際課 ・展示場所の提供 	<p>団 体</p> <ul style="list-style-type: none"> ●写団「耀 (かがやき)」 ・季節に応じた作品の展示 ・定期的な展示替え
--	--

覚書の締結



各地域の残したい風景を集めた写真展
特産品の販売



未場者数
3万8千人！
山田洋次監督も
来てくれました

寅さんが歩いたまちと 人情のまち柴又をつなぎ、地域活性化

寅さんサミット実行委員会

- POINT ① 日本の原風景を守り、後世に伝える
- POINT ② 映画のロケ地と柴又の名産品コラボメニュー限定販売
- POINT ③ ロケ地との産業交流(名産品)と文化交流(伝統芸能等)



実行委員長 齊藤 勝治さん(左) / 実行委員 石川 宏太さん(右)

構想から十数年、「寅さん」を中心にごんごん地域の輪が広がっています...
やっぱり嬉しいね

「構想から十数年、いろいろな方に支えられて、2015年に初めて『寅さんサミット』を開催することができました。

サミットが架け橋になって、映画『男はつらいよ』でロケ地となった各地域と、葛飾区柴又を盛り上げていくきっかけになって欲しいんですよ。人情ある柴又の町を守るためにも、このイベントを毎年続けていきたいね(齊藤さん)

「今の若い世代の方は、『寅さん』という名前も知らない人もいますよね。このサミットは、新しいファンを呼べるイベントにもなっていますよ(石川さん)。

「寅さん」を中心にごんごん地域の輪が広がっていくことになれば...。やっぱり嬉しいですね(石川さん)。

INTERVIEW



寅さんサミット実行委員会は、「日本の古い町並みなどの『原風景』を守り、後世に伝える」をテーマに、映画『男はつらいよ』の主人公「寅さん」のふるさとである葛飾区柴又で、毎年11月に「寅さんサミット」を開催しています。このサミットは、2015年から始まり、映画のロケが行われた各地域の特産品の展示・販売、伝統芸能の披露、そして、原風景写真展や映画『男はつらいよ』の上映などを行っています。

2016年のサミットには、秋田県鹿角市や宮城県日南市など、16市町村が参加し、前年に引き続き各地域と柴又の名産品を組み合わせたコラボメニューを販売しました。2日間にわたるイベントは、寅さんの仮装をするファンなど約4万人の人出で、会場の帝釈天周辺は大賑わいでした。

寅さんサミットは、区内の産業団体などで構成される寅さんサミット実行委員会が主体となり、映画のロケ地などと協働して行い、来年以降も参加地域を増やしながら開催していく予定です。

協働の仕組み

寅さんサミット実行委員会

団体

- 一般社団法人葛飾区観光協会
- 東京商工会議所葛飾支部
- 葛飾区商店街連合会
- 柴又神明会
- かつしか異業種交流会
- 葛飾柴又寅さん記念館
- 葛飾エフエム放送株式会社
・ イベントの企画・運営

区

- 観光課
・ 実行委員会の事務局

● ホームページ [寅さんサミット](#) 検索

問い合わせ <観光課> 直通電話：03-3838-5558



できあがったケーキは本格的に箱に入れて持ち帰ります

メンバーの丁寧な指導で初めてでも上手にデコレーション

ケーキづくり教室は子どもたちに大人気!

できた♡ フルーツロールケーキ

食育推進 子ども向けケーキづくり教室

葛飾区洋菓子組合

- Point ① 大人気! 子ども向けケーキづくり教室
- Point ② 手を洗い、うがいを! 楽しみながら食育推進
- Point ③ 保健所が周知・募集・会場を提供



組合長 茂木 明治さん

子どもたちに、ケーキづくりを教えるのは、楽しいです。時間を忘れるほど夢中になります

子どもたちにケーキづくりを教えるのは楽しいです。みんな一生懸命で、こちらも時間を忘れるほど夢中になっちゃってます(笑)。
子どもたちは、クッキーやケーキづくりが大好きですから。特に生クリームを絞ってデコレーションしたりとか。私は、区の食育推進員をやっています。イベントなどでは、食の安全・安心に特に気を使います。子どもたちに、しっかり手を洗うことや、うがいの大切さを伝えています。何回か参加しているお子さんには「おとうさんが、おもしろいことしてくれます」と言われました。とても嬉しいですね。組合としては、このイベントを若い組合員につなげていきたいです。

葛飾区洋菓子組合は、健康・食育フェアなど区内のイベントで、子ども向けケーキづくり教室などの食育活動をしています。保健所では、平成24年から小・中学生を対象に、毎年ケーキ教室を実施しています。毎回、たくさんのお誘いがあり、抽選になるほど子どもたちに大人気の企画です。昨年は、8種類のフルーツを使ったロールケーキを作りました。
本格的なケーキづくりは、初めての子どもたちも多く、生クリームを生地の上にスポンジに塗るパレットナイフをおっかなびっくり使いながらも、洋菓子組合のメンバーたちの指導で次々と完成。見守っていた家族たちも楽しんでいました。でき上がったケーキは、家に持ち帰って家族でいただくそうです。
このケーキづくり教室は、保健所が参加者への周知・募集を行い、会場を提供。子どもたちに、食への関心を高めてもらい、手を洗って食の安全を徹底することなどが、食育推進を図ることが目的です。

協働の仕組み



区
● 健康づくり課
・会場の提供
・イベントの周知・募集

団体
● 葛飾区洋菓子組合
・ケーキづくり教室などの開催



さまざまなジャンルの力作が
とろせましと展示されています



陶芸教室の体験コーナー

生け花の展示



色彩豊かな絵手紙

手編みサークル



福島県埴町の物産直売も大人気



大人気の歌声喫茶
若い人からお年寄まで
みんな大盛り上がり!

盛況です!

秋を彩るまちの文化祭

多彩なイベントは参加・体験・出会いの場

新小岩文化祭実行委員会

- Point ① 地域住民と地元文化サークルが協力し合って定着
- Point ② 新小岩南地域におけるまちづくりの一環として開催
- Point ③ 文化・芸術、社会貢献、まちづくりが一体となった文化祭



実行委員長 横山 正一さん

子どもたちから、お年寄りまで
発表したり、体験したり…
楽しいですよ

出品する方々も、出来栄のいい作品を出そうと、力が入って…皆さん知り合いをイベントに呼ぶんですよ。ですから、やりがいがあるというか、生きがいになっているようです。

ただの展示ではなく、親子で体験できるガラスの装飾用ビーズ・とんぼ玉や絵手紙のコーナーもあり、子どもたちからお年寄りまで、いろんなブースで、発表したり、体験したり、勉強したりできるようにしています。

このイベントは、まちづくりの一環としてやっています。10年後のまちをどうしたらいいか、そういうコーナーもあって、皆さんの声も聞けるし、我々もいろいろ考えさせられたり、楽しいですよ。

将来はもっと規模を広げていきたいですね。

新小岩文化祭実行委員会は、新小岩南地域の6自治町会、9商店会と参加者を中心に構成され、毎年11月に、文化イベントを新小岩地区センターで開催しています。

このイベントは、地域住民と文化サークルが一体となって定着させてきたもので、絵画や書道、陶芸、手芸などを展示するほか、珍しい日本舞踊のワークショップや地元の実業者による演芸フェスティバルを実施しています。また、地域の保育園や幼稚園を招待して人形劇を上演したり、夜は歌声喫茶を開くなど、毎年、盛りだくさんの内容で人気を集めています。

昨年は、東日本大震災の支援として福島県埴町の物産直売や、地元にある障害福祉サービス事業所「奥戸福祉館」の皆さんが焼き立てパンを販売しました。

来場者も年々増え、家族連れなど延べ3000人を超える方々が、開催期間中、新小岩地区センターを訪れます。このイベントは地域の人たちの出会いの場でもあり、みんなが地域を活性化しようという思いで運営されています。

協働の仕組み

区

- 街づくり推進課
- 地域振興課(新小岩地区センター)
- ・まちづくり協議会に対する支援

主催団体

- 新小岩文化祭実行委員会
- ・新小岩文化祭の企画、運営

区民

- 地元の文化サークル
- ・絵画、書道、手芸、陶芸等の展示
- 小・中学生、フリースクール
- ・作品等の展示

参加団体

- 展示以外の催し物
- ・人形劇劇団
- ・歌声喫茶
- ・福島県埴町物産展
- ・演芸フェスティバル

平成28年度実地研修の内容

花いっぱいのまちづくり



事前ガイダンスで花いっぱいのまちづくりについて理解を深めたうえで、活動者と一緒に花壇活動(花の植え替え等)を行いました。作業終了後、活動者と意見交換を行いました。

活動団体 ● 松南の森プロジェクト

かつしか区民大学(農業応援サポーター養成講座)



区民大学講座を企画検討している活発な議論の場に参加し、運営委員との意見交換を通じて区民大学の基本を学んだうえで、講座を修了し活動をしているサポーターや千葉大学の学生、講座に参加している区民と一緒に種まきなどの農作業を行いました。作業終了後、参加者と意見交換を行いました。

活動団体 ● 区民運営委員会※1
● 農業応援サポーター(講座修了者)
● 千葉大学学生(講師) ● 講座参加者

区民健康体力テスト測定会



事前ガイダンスで区のスポーツ行政について理解を深めたうえで、測定会に従事し、スポーツ推進委員と一緒に測定補助を行うとともに、研修生自身も自らの体力測定を行いました。

活動団体 ● スポーツ推進委員協議会

機械要素技術展※2



事前の企業訪問で担当企業の商品や技術について学ぶとともに、商品や技術に対する思いを深めたうえで、当日は、葛飾区ブースに訪れたお客様に対して担当企業のPRをし、簡単な質疑応答を行いました。

活動団体 ● 区内出展企業13社

※1 公募により決定した区民運営委員が区民大学の講座の企画や運営を行う委員会です。

※2 東京ビッグサイトにて行われた、ねじ・バネなどの部品や金属・樹脂に関する加工技術を有する企業を一同に集めた専門展覧会です。

問い合わせ

人材育成課

直通電話番号 03-5698-2611

採用2年目職員の「協働研修」をご紹介します!!

目的

葛飾区では、新人から管理監督者までの職員を対象に、協働意識の醸成を図る研修を実施しています。特に、採用2年目の職員は、区民・事業者と協働で研修を実施しています。

これは、区内の団体や企業等が活動する現場に赴き、活動されている皆さんと同じ作業を行い一緒に汗を流すことで、皆さんがどのような思いを持って活動に携わっているのかを肌で感じ、その体験を今後の仕事にどう活かしていくかを考えていくものです。



採用2年目

内容

1 導入研修

協働について理解を深め、本研修の目的や学習テーマを明らかにする(5月)

2 実地研修(区内活動団体等への派遣)

団体等が活動する現場に赴いて区民の声を直接聞くことで、協働のパートナーに対する理解と知識を深めるとともに、区の現状と課題を知る(5~7月)

3 振り返り研修

これまでに学習したことを自らの仕事の中で活かすため、個々の体験や学びを共有するとともに、体験の意味を明らかにし、協働に対する意識を更に高めていく(8月)

研修生の感想

区と団体が一体となって、同じ目的を持って取り組んでいるのを肌で感じました。

区民がやりがいを持ち、活躍できる場を提供することが、職員にとって必要だと感じました。



1 講座を選ぶ

講座一覧よりご希望の講座をお選びください。

2 講座の連絡先に連絡する

受講希望日の20日前までに、講座の連絡先にご連絡ください。なお、日時は調整が必要な場合がありますので受講希望日を3日程度お伝えください。

3 講座の連絡先に申込書を出す

受講希望日を確認後、講座の連絡先へ所定の申込書をご提出ください。

4 出前講座実施

区職員が会場へ伺いお話しします。

対象

区内在住・在勤・在学の10人以上の団体・グループ

日時

午前9時～午後9時の2時間以内（年末年始を除く）

会場

区内のご希望の場所
(会場については、申込み団体・グループでご用意ください)

申込書配布

区ホームページ・区民事務所・地区センター・図書館

この講座は、政治・宗教・営利活動を目的とした催しには利用できません。また、区に対する陳情などをお受けする目的で行うものではありませんので、ご理解のほどお願いいたします。

出前講座についてのご質問は

政策企画課 協働推進担当

電話 **03-5654-8177**

葛飾区協働推進担当からのお知らせ

葛飾区職員出前講座をご利用ください



職員出前講座とは…

葛飾区では、かねてよりさまざまな方々によって、地域を良くしようとする活動が行われてきました。区民・事業者の皆さんと区が「協働」することで、こうした活動を一層素晴らしいものにすることができます。

協働するためには、まず区の現状や取り組みなどの情報を共有することが大切です。**葛飾区職員出前講座は、区職員が皆さんの地域に伺い、区の現状や取り組みについてお話しするものです。**



さまざまなメニューをご用意しています。どうぞお気軽にご利用ください。メニュー一覧を掲載しているパンフレットは、区役所、区民事務所、地区センター、図書館で配布しております。また、区公式ホームページ(<http://www.city.katsushika.lg.jp/>)にも掲載しております。

葛飾みんなの協働サイトの情報発信会員に登録するためには、いくつかの条件と必要な書類があります。パンフレット、ホームページ等で登録要件を確認の上、お申し込みください。

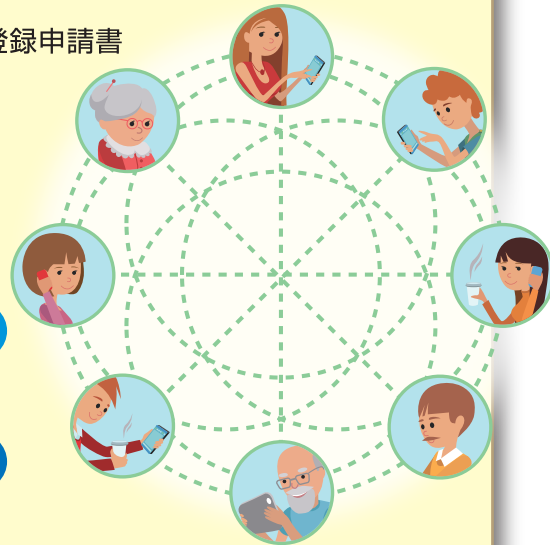
<会員団体登録の流れ>

1 会員団体登録の要件を確認する

葛飾みんなの協働サイト利用規約第3条第2項に記載されています

2 必要書類をそろえる

- ① 葛飾みんなの協働サイト会員団体登録申請書
- ② 団体の運営に関する規則
(定款、規約、会則など)
- ③ 会員または役員の名簿
- ④ 活動概要のわかる書類
- ⑤ 団体活動などの写真(任意)



3 必要書類の提出

下記申込先にご持参ください

4 提出書類の審査

区が審査を行います

5 審査結果の連絡

承認された場合 承認通知とともに、ログイン用の「会員ID」および「仮パスワード」を送付します

不承認の場合 不承認通知を送付します

郵送での受付は行っておりません。窓口書類を持参ください。

お問い合わせ
お申し込み先

政策経営部政策企画課

葛飾区立石 5-13-1 新館6階 608番窓口

電話 03-5654-8177

葛飾区協働推進担当からのお知らせ

葛飾区公式協働ホームページ
葛飾みんなの協働サイト
を開設します



葛飾みんなの協働サイトとは…



葛飾区では、区内で地域貢献活動をしている自治町会や区民活動団体、NPO、事業者等のみなさんが情報発信会員として団体登録し、団体自らが活動内容やイベント、ボランティア募集などの情報をタイムリーに紹介することができる、「葛飾みんなの協働サイト」を、平成29年4月3日より開設します。

ホームページを持たない団体の方でも、このホームページに会員登録し、活用いただくことで、広く情報発信をすることができます。

区では、情報発信会員として登録を希望する団体を募集します。

登録を希望する団体の方や、このホームページについて知りたい方は、左記連絡先にお問い合わせいただくか、区役所政策企画課、区民事務所、地区センター、図書館で配布しているパンフレットまたは区公式ホームページ、葛飾みんなの協働サイト(平成29年4月3日から閲覧可能)をご覧ください。